

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学
経営協議会（平成28年度第2回）議事要旨

1. 日時 平成28年11月30日（水）13:00～15:00
2. 場所 奈良先端科学技術大学院大学 事務局3階 会議室
3. 出席者 小笠原議長
片岡、横矢、中島、太田、常盤の各学内委員
小山、田中、土井、野間口、樋口、宮脇、矢嶋の各学外委員
欠席者 ヴィーツォレック、宮原の各学外委員
出席監事 西村、野口の各監事
陪席者 石川、奥田の各部長
西山、寒川、林田、井上、尾形、佐橋、樋口の各課長
岡本施設課課長補佐
4. 配付資料
- 資料1 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学経営協議会（平成28年度第1回）議事要旨（案）
- 資料2 奈良先端科学技術大学院大学学則等の一部改正について
- 資料3-1 URAの人事制度について（案）
- 資料3-2 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学職員就業規則等の一部改正等について
- 資料4-1-1 平成28年人事院勧告による一般職の職員の給与に関する法律（国家公務員給与法）の改正への対応について
- 資料4-1-2 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学職員給与規程の一部改正について
- 資料4-2 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学職員退職手当規程の一部改正について
- 資料5-1 育児・介護休業法等の改正への対応について
- 資料5-2 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学職員の育児休業及び介護休業等に関する規程等の一部改正について
- 資料6 平成28年度収入・支出予算（案）（補正予算）
- 資料7 平成28年度 目的積立金の配分について（案）
- 資料8 本学の主な動き（平成28年6月～11月）
- 資料9-1 平成27年度に係る業務の実績に関する評価の結果について（通知）
- 資料9-2 第2期中期目標期間における本学の業務の実績に関する評価結果について
- 資料10 平成27事業年度財務諸表の承認について（通知）
- 机上資料 「国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 財務報告書 Financial Report 2016」
- 資料11-1 平成29年度予算の概算要求における運営費交付金等の状況について
- 資料11-2 平成29年度文部科学関係概算要求のポイント
- 資料12 修学支援事業基金の新設について
- 資料13 平成28年度外部資金の受入れについて
- 参考資料 奈良先端大の概要と特色
- 参考資料 高等教育を取り巻く最近の状況について
- 参考資料 博士人材の社会の多様な場での活躍促進に向けて

5. 議 事

(前回議事要旨の確認)

資料1の前回(平成28年度第1回)の議事要旨(案)について、原案どおり承認した。

(審議事項)

(1) 奈良先端科学技術大学院大学学則等の一部改正について

片岡委員から、資料2に基づき、奈良先端科学技術大学院大学学則等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

(2) 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学職員就業規則等の一部改正等について

中島委員から、資料3-1~2に基づき、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学職員就業規則等の一部改正等について説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

(主な意見等は、次のとおり)

- ・現在、URA という組織は、大学の中でも重要な組織となってきたが、URA 活動が効果的に行われるためには、学長で直轄組織され、学長の指示の下で活動可能な形としたほうがよいと思われる。他大学では部局間や各研究科に配置されると、ほとんどが失敗している。
- ・IRとURAというのは、別個のものであることから、しっかり組織として分けておくべきで、特に関連する補助金を申請する場合には、注意が必要であると思われる。
- ・弁理士等の資格しか持たない人であっても大きなリーダーシップを発揮したような人は、その部門のディレクターにしても余りあるぐらいの評価をしてもいいのではないかと思われる。弁理士はその一例であって、これからの時代、世界を相手にする大学では、URA の活用を考えたほうがよいのではないかと思われる。
- ・産官学連携について、一つの会社が大学と全分野で連携できるのは大企業だけで中堅以下は特定の分野に限られる。するとそれ以外の分野を持つ複数の会社との間で産官学連携が成りたっていくが、それをマネジメントできる能力がURAにあればよいと思われる。
- ・例えば国際標準といった仕事をする場合、担当者は相手方と非常に長い付き合いで業務している、こういった職種については任期5年を、ある程度弾力的に考えて行かれてはどうか。
- ・わが社ではベンチャー支援をしっかりと行っており、様々な実績も出ている。世の中の多くの人々の役に立ち、喜んでいただけるものが大学発から出てきたら、財政面も潤うと考える。

(3) 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学職員給与規程等の一部改正について

中島委員から、資料4-1-1~4-2に基づき、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学職員給与規程等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

(4) 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学職員の育児休業及び介護休業等に関する規程等の一部改正について

中島委員から、資料5-1~2に基づき、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学職員の育児休業及び介護休業等に関する規程等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

- (5) 平成28年度補正予算の編成について
中島委員から、資料6に基づき、平成28年度の収入・支出に係る学内予算の補正について説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。
- (6) 平成28年度目的積立金の配分について
中島委員から、資料7に基づき、平成28年度目的積立金の配分について説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

(報告事項)

- (1) 本学の主な動きについて (平成28年6月～11月)
議長から、資料8に基づき、平成28年6月から平成28年11月までの本学の活動状況等について、報告があった。
- (2) 平成27年度に係る業務の実績に関する評価の結果について
横矢委員から、資料9-1～2に基づき、平成27年度に係る業務の実績に関する評価の結果について、報告があった。
- (3) 平成27事業年度財務諸表の承認について
中島委員から、資料10に基づき、平成27事業年度財務諸表の承認について、報告があった。
- (4) 平成27年度財務報告書について
中島委員から、机上資料に基づき、「国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学 財務報告書 Financial Report 2016」を作成した旨の報告があり、第2期中期目標期間中の財務報告書における財務指標の経年比較について説明があった。

(主な意見等は、次のとおり)

- ・機能強化のタイプ2を選択した大学は、指標による特徴を出しにくいため、奈良先端大がどのような大学かが見えてくるように、どの数値指標に力を入れるのか工夫する必要がある。
- (5) 平成29年度概算要求の状況について
中島委員から、資料11-1～2に基づき、平成29年度概算要求の状況について報告があった。
- (6) 修学支援事業基金の新設について
議長から、資料12に基づき、修学支援事業基金を新たに設置することについて報告があった。
- (7) 平成28年度外部資金の受入れについて
横矢委員から、資料13に基づき、平成28年度外部資金の受入れについて、報告があった。

以上